

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2020年3月30日[当初、2028年6月15日]まで (2018年9月26日設定)	
運用方針	証券投資信託であるBNPパリバ北欧小型株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)の投資信託証券への投資を通じて、主として北欧諸国の金融商品取引所に上場している小型株式に投資を行います。また、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券へも投資します。投資信託証券への投資は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	北欧小型株式ファンド (為替ヘッジなし)	BNPパリバ北欧小型株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)およびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。
	BNPパリバ北欧小型株式ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	BNPパリバ北欧小型株式マザーファンド受益証券を通じて、主として北欧諸国の小型株式に実質的に投資を行います。
	マネー・マーケット・マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。 外貨建資産への投資は行いません。
主な組入制限	投資信託証券への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

償還報告書(全体版)

[繰上償還]

北欧小型株ファンド (為替ヘッジなし)



信託終了日：2020年3月30日



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「北欧小型株ファンド(為替ヘッジなし)」は、約款の規定に基づき、先般ご案内申し上げました予定通り、3月30日に繰り上げて償還させていただきました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
(受付時間：営業日の9:00~17:00、
土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			債組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率	純資産総額
		税金	騰落	騰落率				
(設定日)	円 銭	円	円	%	%	%	%	百万円
2018年9月26日	10,000	—	—	—	—	—	—	10
1期(2019年6月17日)	8,769	0	△12.3	—	—	98.1	—	8
(償還時)	(償還価額)	—	—	—	—	—	—	—
2期(2020年3月30日)	8,868.16	—	1.1	—	—	—	—	8

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	標準価額		債組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率	債券率
		騰落	騰落率				
(期首)	円 銭		%	%	%	%	%
2019年6月17日	8,769	—	—	—	—	98.1	—
6月末	8,892		1.4	—	—	99.0	—
7月末	8,827		0.7	—	—	99.1	—
8月末	8,108		△7.5	—	—	99.2	—
9月末	8,438		△3.8	—	—	99.3	—
10月末	8,942		2.0	—	—	99.4	—
11月末	9,272		5.7	—	—	99.0	—
12月末	10,034		14.4	—	—	99.2	—
2020年1月末	9,730		11.0	—	—	99.3	—
2月末	9,306		6.1	—	—	99.3	—
(償還時)	(償還価額)						
2020年3月30日	8,868.16		1.1	—	—	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第1期～第2期：2018年9月26日～2020年3月30日

▶ 設定来の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第1期首	10,000円
第2期末	8,868.16円
既払分配金	0円
騰落率	-11.3%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

償還価額は設定時に比べ11.3%の下落となりました。

▶ 基準価額の主な変動要因

上昇要因

2020年3月上旬に全売却を行なうまでは保有銘柄全体が上昇していたことや、個別銘柄（POWERCELL SWEDEN AB、KLOVERN AB-B SHSなど）が上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

為替市況で北欧通貨やユーロが円に対して下落したことが基準価額の下落要因となりました。

第1期～第2期：2018年9月26日～2020年3月30日

投資環境について

▶ 北欧株式市況

北欧株式市況は下落しました。

設定時から2018年12月下旬までは、米中貿易摩擦やイタリアの財政悪化、欧州の景気減速懸念が高まったことなどが嫌気され下落しました。その後は、米欧の金融緩和観測に加え、米中通商協議の進展に対する期待や、英国の合意なき欧州連合（EU）離脱リスクの後退などが好感され上昇しました。2020年2月中旬以降は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、世界的に実体経済停滞に対する懸念が高まったことなどを背景に下落しました。

▶ 為替市況

設定時に比べ北欧通貨やユーロは対円で下落しました。

▶ 国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は概ねマイナス圏で推移。

設定時以降の無担保コール翌日物金利は、日銀による金融緩和政策の影響を受けて概ねマイナス圏での推移となり、足下では-0.017%程度で推移しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 北欧小型株ファンド（為替ヘッジなし）

信託期間を通じて、投資信託証券であるBNPパリバ北欧小型株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）への投資を通じて、北欧諸国の金融商品取引所に上場している小型株式に実質的に投資を行うとともに、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部

組み入れた運用を行いました。

第2期（2019年6月18日～信託終了日）は、繰上償還に向け、2020年3月後半に投資信託証券である、BNPパリバ北欧小型株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券の組入比率をゼロにしました。

▶ **BNPパリバ北欧小型株式ファンド
（為替ヘッジなし）（適格機関投資
家専用）**

信託期間を通じて、株式については、北
欧諸国において、革新的な技術、製品、
サービス等を有すると考えられる企業の
株式に投資を継続しました。

設定時より、健全な企業統治やグローバ
ルな事業エクスポージャーを持つ企業に
着目しながら、長期的に安定した収益の

獲得を追求する方針としました。

第2期（2019年6月18日～信託終了日）
は、繰上償還に向け、2020年3月上旬に、
保有資産を売却し、安定運用に切り替え
ました。

▶ **マネー・マーケット・マザーファンド**
信託期間を通じて、コール・ローン等短
期金融商品を活用し、利子等収益の確保
を図りました。

▶ **当該投資信託のベンチマークとの差異について**

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ **分配金について**

信託期間中の収益の分配はありません。

▶ **償還価額**

▶ **北欧小型株ファンド（為替ヘッジなし）**

償還価額は8,868円16銭となりました。

信託期間中はご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。

2019年6月18日～2020年3月30日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	84	0.923	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(23)	(0.257)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(58)	(0.645)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.001	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.001)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	84	0.924	

期中の平均基準価額は、9,067円です。

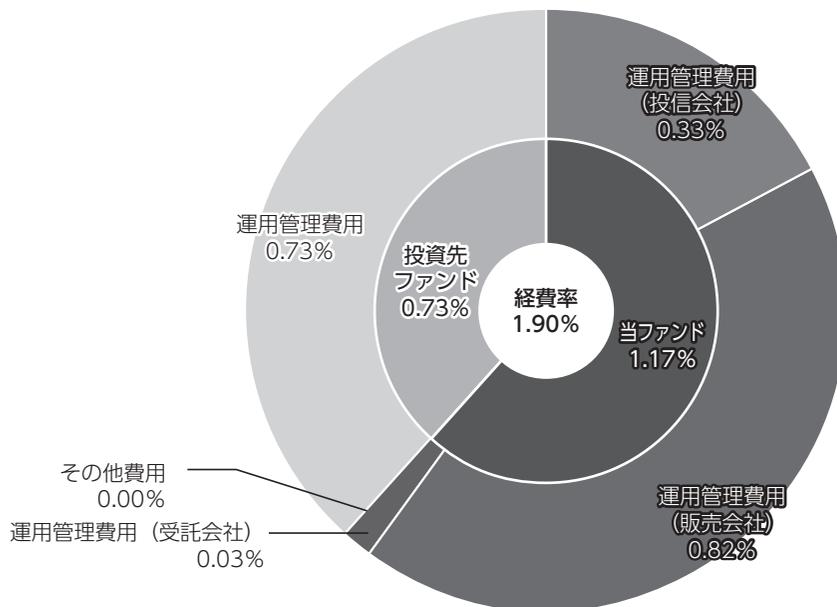
- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

- (注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**経費率（年率）は1.90%**です。



経費率 (①+②)	(%)	1.90
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.17
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.73

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、前記には含まれておりません。

○売買及び取引の状況

(2019年6月18日～2020年3月30日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	BNPパリバ北欧小型株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	千口 91	千円 80	千口 54 (9,882)	千円 50 (8,813)

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は分割・合併および償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
マネー・マーケット・マザーファンド		千口 -	千円 -	千口 9	千円 9

○利害関係人との取引状況等

(2019年6月18日～2020年3月30日)

利害関係人との取引状況

<北欧小型株ファンド（為替ヘッジなし）>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$

<マネー・マーケット・マザーファンド>

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2019年6月18日～2020年3月30日)

期首残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	償還時残高(元本)	取引の理由
百万円 10	百万円 -	百万円 -	百万円 10	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2020年3月30日現在)

信託終了日現在、有価証券等の組入れはございません。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	期首(前期末)	
		口	数
BNPパリバ北欧小型株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）			千口 9,845
合	計		9,845

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	
		口	数
マネー・マーケット・マザーファンド			千口 9

○投資信託財産の構成

(2020年3月30日現在)

項	目	償 還 時	
		評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他		千円 8,900	% 100.0
投資信託財産総額		8,900	100.0

○資産、負債、元本及び償還価額の状況（2020年3月30日現在）

項目	償還時
	円
(A) 資産	8,900,783
コール・ローン等	8,900,783
(B) 負債	32,619
未払信託報酬	32,580
未払利息	3
その他未払費用	36
(C) 純資産総額(A-B)	8,868,164
元本	10,000,000
償還差損金	△ 1,131,836
(D) 受益権総口数	10,000,000口
1万口当たり償還価額(C/D)	8,868円16銭

<注記事項>

- ①期首元本額 10,000,000円
 期中追加設定元本額 0円
 期中一部解約元本額 0円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.886816円です。
 ②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,131,836円です。

○損益の状況（2019年6月18日～2020年3月30日）

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	△ 10
支払利息	△ 10
(B) 有価証券売買損益	183,245
売買益	183,246
売買損	△ 1
(C) 信託報酬等	△ 83,752
(D) 当期損益金(A+B+C)	99,483
(E) 前期繰越損益金	△1,231,319
償還差損金(D+E)	△1,131,836

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含まず。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2018年9月26日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2020年3月30日		資産総額	8,900,783円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	32,619円
				純資産総額	8,868,164円
受益権口数	10,000,000口	10,000,000口	一口	受益権口数	10,000,000口
元本額	10,000,000円	10,000,000円	一元	1万口当たり償還金	8,868円16銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	10,000,000円	8,768,681円	8,769円	0円	0%

○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税込み）	8,868円16銭
----------------	-----------

◆償還金は償還日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆課税上の取り扱い

- 個人受益者の場合、償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得等として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。
- 特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

【お知らせ】

全残存口数に対して受益者からの解約請求があり、約款第38条第1項に規定する「やむを得ない事情が発生」した場合に該当したため、信託約款の規定に基づき、信託を終了しました。

(2020年3月30日)